

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成27年度第7回定例会
開催日時	平成27年10月21日（水曜日）午後6時30分から9時まで
開催場所	柳沢公民館 第1会議室
出席者	委員：野間春二、馬場真由美、中曽根聡、石田裕子、武司一郎、廣田幸雄、松嶋真、真鍋五十鈴、上田幸夫、呉世蓮、小林克彦、瀬川容子 職員：伊田館長、矢澤主幹、平井事業係長、小笠原分館長、長谷部分館長、水野分館長、星野主任、川口主任、神田園子（オブザーバー）
欠席者	委員：大野雅生、糸山時子
議題	議題1 平成27年度第5回および第6回定例会の会議録について 議題2 報告事項 （1）行政報告 （2）公民館だより編集室報告 （3）都公連関係報告（委員部会関係報告） （4）合築複合化基本プラン策定懇談会報告 （5）ひばりが丘公民館臨時利用者懇談会報告 （6）ひばりが丘公民館の分室化について 議題3 審議事項 （1）事業計画書・事業報告書について 議題4 協議・確認事項 議題5 事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	資料1 平成27年度第7回定例会次第 資料2 平成27年度第7回定例会開催通知 資料3 平成27年度第5回定例会会議録（案） 資料4 平成27年度第6回定例会会議録（案） 資料5 公民館主催事業計画書・報告書 資料6 西東京市合築複合化基本プラン策定懇談会 第4回会議次第 資料7 市民会館、中央図書館・田無公民館については、時間をかけ慎重に検討することを求める決議（写） 資料8 ひばりが丘公民館臨時利用者懇談会報告（10月3日、10月6日分） 資料9 経過の総括（ひばりが丘公民館分室化関連） 資料10 第7回公民館だより編集室会議報告 資料11 公民館だより第173号 資料12 図書館だより第59号
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> 有り（4人） <input type="checkbox"/> 無し
会議内容	
<p>議題1 平成27年度第5回および第6回定例会の会議録について 原案どおり承認</p> <p>議題2 報告事項 （1）行政報告 ○館長： 1 議会報告 平成27年度市議会第3回定例会報告 決算特別委員会でひばりが丘公民館関連で3人、公運審について1人、市民企画事業について1人の議員から質問があった。また、議員提出議案「市民会館、中央図書館・田無公民館合築複合化については、時間をかけ慎重に検討することを求める決</p>	

議」が議決された。

10月13日に文教厚生委員会が開催され、市民会館、中央図書館、田無公民館の合築複合化について、事務局である文化振興課より、第2回懇談会、第3回懇談会、施設視察について報告、第4回懇談会の予定について報告された。

10月3日、6日に、ひばりが丘公民館臨時利用者懇談会を開催した。

各館で利用者懇談会を開催中である。各館20人ほどの参加をいただいている。

芝久保公民館夜間個人学習支援試行事業について登録者にアンケートを実施し、検証、検討の会議を9月28日から2回実施した。あと2回ほどは検討の会議が必要かと考える。方向性を定め報告する。

○委員：

方向性についてどう考えているか。

○主幹：

試行としているので、引き続き継続するか、別の新たな事業を行うか、から検討する。背景として夜間の利用率が低いことから有効活用の視点で本事業を開始した。

○委員：

登録者も含めて検討の会議をしているのか。

○主幹：

利用者、登録者の半数以上が中学生である。中学生、高校生等利用者の意見はアンケートで受け止め、それを踏まえて検討する。会議メンバーは館長、主幹、各分館長、事業係長、芝久保公民館専門員2名である。

(2) 公民館だより編集室報告

○委員：

平成27年度第7回公民館だより編集室会議録（要旨）に沿って、報告。

(3) 都公連関係報告

○委員：

9月26日に狛江市公民館で委員会第1回研修会が開催された。年間テーマは「公民館を取り巻く諸状況を考える」。今回研修のテーマは「市民ニーズに応える公民館運営・事業の設定」。3市（小金井市職員・国立市公運審委員・町田市公運審委員）より事例発表があり、講師の元文部科学省社会教育課長の神代浩氏からお話をいただいた。研修後の運営委員会では時間配分、ワークショップ的な内容の必要性について反省点が挙げられた。

次回研修会は1月末を予定。

関ブロ大会事務局長：

11月14日（土曜日）に開催。午前9時30分受付、午前10時～アトラクション、午前10時30分～開会式典、基調講演と続く。午後はシンポジウムを開催。現在564人の申し込みをいただいている。

(4) 合築複合化基本プラン策定懇談会報告

○委員：

10月19日（月曜日）第4回会議を開催した。9月20日（日曜日）羽村市、行田市の施設を視察しており、それを受けて西東京市において必要なもの、不要なものを出し合った。

3館合築は面積的に困難であり、合築プランを出していったよいかと疑義が出された。議会の決議については、懇談会の進行については会の進行をみながら、と事務局よりあった。

次回11月12日・27日（月曜日）開催予定。

○委員：

議会の決議を別にしても、各委員が何十年かの活動の歴史を背負ってきていることを考えると、もう少し時間が必要かとも思う。私たちも図書館や市民会館も使うわけであり、前向きな気持ちの中で、公民館のことも主張していきたい。

○委員：

公民館が、市民会館、図書館と異なって際立つのは、住民参加の仕組みがどう位置づくのか、という点である。その機能的特色、根拠は社会教育法にあることを主張していくことは重要である。

(5) ひばりが丘公民館臨時利用者懇談会報告

○館長：

10月3日と6日に実施した。

10月3日は11人の参加。主な質疑として、嘱託員の体制について、方針は変えられないのか、災害時の対応について。10月6日は18人の参加。主な質疑として、他館への波及について、分館長から再雇用嘱託員に変わることにについて。これらに対して改めて分室化について説明した。また、体制が変わっていくことは心配するが公民館を信頼し、今後の運営にあたってほしい、公民館があつて西東京市はこんなに良い街になった、将来にわたって再雇用嘱託員が力量を発揮できる状況を確保してほしい、といった意見もいただいた。

平成28年4月1日を施行日とし、今後の教育委員会及び12月議会に条例を上程していくことについても説明した。

○委員：

「経過の総括」に「これまでと変わらない活動の場所を確保するとともに、専門員が企画する主催事業等にも影響がないよう…」とあるが、陳情第20号（平成27年8月21日）では「公民館の機能は、単なる部屋の貸出しではありません。…複雑で有機的な機能を有しています。」と述べている。どう考えるか。また、陳情の扱いは今どうなっているか。

○館長：

陳情は継続審議となっている。再雇用嘱託員は地域と連携できないかということ、そうではない。再雇用嘱託員へも研修を行うなどを通して、地域との連携を深めていく。

○委員：

これまでと同じ施設機能を維持していく、ではなく、これまで以上を目指していく、でないと不安が残る。6館でしっかり連携し、中央館機能を強化していく一歩としてほしい。

○館長：

利用者懇談会が進行中だが、登録数に比して参加者が決して多いとは言えない。多くのみなさんに参加していただけるような公民館にしていきたい。

○委員：

臨時利用懇に参加して、ひばりが丘公民館への期待を強く感じた。変わらない形で残してほしいという思いを感じた。

○館長：

他館に及ばないという点はどうか残すか。

○委員：

適正配置計画に他館のことは書いていない。ただし、将来にわたって、となると責任をもって言うことはできない。

(6) ひばりが丘公民館の分室化について

○館長：

7月より開催した臨時利用者懇談会は全部で6回開催し、延べ104名の市民の皆様にご参加いただいた。また、臨時利用者懇談会の報告については、随時、公民館運営審議会でもご報告をさせていただき、委員の皆様からも、たくさんのご意見をいただいていた。

この間の総括として、10月の臨時利用者懇談会でも資料をお配りして説明を申し上げているが、「公共施設の適正配置等を推進するための実行計画」等に基づき、ひばりが丘公民館・谷戸公民館の一体的運営について検討をしてきた。この間の検討の中で、公民館を利用いただいている皆様に、これまでと変わらない活動の場所を確保するとともに、専門員が企画する主催事業等にも影響がないよう分館長の代わりに庶務事務等を行う再雇用嘱託員を配置することとしている。

分室化となっても、社会教育法に規定する施設であることは変わらない。中央館である柳沢公民館との連携により、これまでと変わらない施設機能を維持していく。

なお、分室化になっても「ひばりが丘公民館」の名称は引き続き変わらない方向での調整も続けている。

平成28年4月1日を施行日とし、今後は教育委員会への申出、12月の市議会へ上程といった手続きを進めていくので、あらためて、委員の皆様にはご報告させていただく。

○委員：

条例改正案ができていないのか。

○事務局：

第2条第2項の表の改正を考えている。

○委員：

職員条項の改正は。

○事務局：

第5条の改正は考えていない。

○委員：

よりよい公民館への方向性を何で担保するかについて危惧が残るのではないかと。

○委員：

それは仕組みであり、陳情にある「職員が市民と深く連携協力して」いくという理念を職員、利用者がともに見守っていく、参加型の運営である。

○委員：

西東京市は公民館を核とした地域作りをしていくという市政全体の計画ができれば、それが担保となる。10年くらいかけて施設計画をし、あり方を考えていくことで積極的な提起となっていく。今、一歩引いた議論となっているとしても、展望が見えてくる。

○館長：

公民館のあり方については利用者懇談会等で引き続き話をしていきたいと考えている。

○委員：

本日出席委員には総意、同意をいただいたとしてよろしいかと。

○委員：

現状維持ではなく、さらによくなるという期待を込めて、である。

○委員：
会議録が、私たちの意見が文書として残るものとなる。

・文化財保存・活用計画策定委員会（追加報告事項）

○委員：
9月30日に会議。活用計画素案を検討中。もっとも肝腎なのが市民の関心だが、まだ下野谷遺跡が知られていない。11月22日に柳沢公民館のまちづくり講座で取り上げる。

議題3 審議事項

(1) 事業計画書・報告書について

平成27年度公民館主催事業計画書（5件）、平成27年度公民館主催事業報告書（5件）

（事業計画書）

【田無】

・料理がつながる温か地域の交流

○委員：
利用サークルの活動を生かして館の外に出て事業を展開することは評価でき、今後に期待できる。

【谷戸】

・地域防災講座「教えて！もしもの時の避難所」

○委員：
地域のリーダーとはどのような人を想定しているか。

○事務局：
育成会を中心とした既存のリーダーのもと、新たな繋がりを作りたい。

○委員
谷戸小の育成会は昨年は参加していない。今年は参加できるとよい。

【ひばりが丘】

・青年就労支援事業 プレ就活deわが町working！

○委員：
就労支援は意義あることであり、自分も周りに声をかけたい。

○委員：
これまでの成果は。

○事務局：
地域の勤労世代中心に毎月会議を開いている。このテーマについて考えるお仲間が増えたことが最大の成果と考える。

【保谷駅前公民館】

・0歳からのクリスマスコンサート

○委員：
発展していくことを期待する。
・子ども書き初め講座

（報告書）

【柳沢】

・乳幼児をもつお母さんのための講座 夢を描いて！子育て中も自分らしく

○委員

保育があるので定員が18人であるが、よい結果をあげており、同様の企画を続けてほしい。

【芝久保】

・平和を考える講座 今、伝え続けること

○委員：

地域の近現代史を学ぶのは公民館ならではであり、評価できる。

【ひばりが丘】

・科学の本とあそび講座 楽しい実験から理科読も身につけよう！

○委員：

学校でのチラシ配布など喜んで協力する。

○委員：

学校からの地域、公民館への発信にも期待したい。

○委員：

子どもの理科離れというのはあるか。

○委員：

好き嫌いが分かれる傾向は見られる。

【保谷駅前】

・第7回保谷駅前公民館ジョイントコンサート
・防災講座「すぐできる！家庭での地震対策」

○委員：

全館として取り組んだ事業というのはこれまでであるか。

○事務局：

現状ではない。

○委員：

そのようなものがあるとアピールになる。

議題4 協議・確認事項

(特になし)

議題5 事務連絡及び情報交換

○事務局：利用者懇談会が進行中であり、来月の定例会で報告する。

・次回の日程について

平成27年度第8回定例会

11月18日（水曜日）午後6時30分～ 於：柳沢公民館 第1会議室

以上